

○●○●○ (町会) 夕陽会便り ○●○●○

2016年2月20日発行(29号) 夕陽会広報部

町会費値上げ浸透の状況(中間報告)

2015年4月の総会で承認されました町会費の値上げは、町会員のご理解のもと、10月以降順調に集金させていただいております。詳しくは4月の総会で報告します。

総会での骨子は	戸建て	1,200円 → 1,300円
	マンション	600円 → 800円
	店舗・オフィス	5%アップ

この原則を適用するに際し、9月の役員会で、実施要項を次のように確認しました。

- ①集金対象の漏れをなくすため、地域内全件の棚卸を行い、対象ベースを広げる
- ②算出根拠をできるだけ統一する(近似物件を比較しアンバランスを調整)
- ③住居:世帯数(基本的にはポストの数を世帯数とみなす)
- ④オフィス、店舗等の法人:通勤者数・来店者数等にも
目を配る
- ⑤急激な値上げを避けるため、移行措置として今年度の
上限を2.1倍以内とする



・・・・・町会スケジュール・・・・・

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 3月 中旬 | : 夕陽会理事募集 |
| 4月 11日(月) | : 2015(平成27)年度 最終役員会 |
| 4月 18日(月) | : 夕陽会理事会(街づくり協議会総会) |
| 4月 25日(月) | : 夕陽会総会・懇親会(18時~20時30分 香港園) |
| 5月 9日(月) | : 2016(平成28)年度 第1回役員会 |

4月は町会役員改選期です。自選・他薦歓迎!

理事募集期間:3月12日(土)~21日(月) 【届け出先:西会長】

電話:3491-8541 E-mail:h.nishi@marunishi-jpn.com

風観測を始めました

夕陽ヶ丘街づくり協議会は、町会の依頼を受けパークタワー目黒周辺の風観測を行います。かねてよりの強風に加え、東口駅前再開発の影響も懸念されています。風工学研究所の協力を得て、3年間の観測を行い将来の対策に向けた基礎とする所存です。

観測機器設置にご協力を頂いた、川崎さま、香港園さまとパークタワー目黒管理組合さまに感謝いたします。夕陽会会員の皆様には、WEBページが公開されますので隨時観測状況を閲覧できます。また、アンケートも行いますのでご協力をおねがいします。

(夕陽ヶ丘街づくり協議会会長 七沢 基)

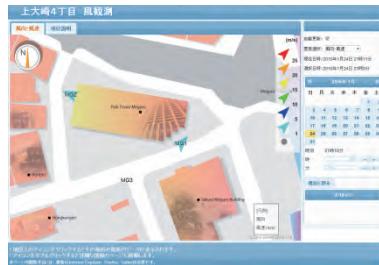
下記WEBページにて、現在観測中の風向風速データをご覧いただけます。ユーザー名とパスワードをご入力の上、ご覧ください。

<https://obsf0.warms.ne.jp/warms/MG/>

ユーザー名:sunset

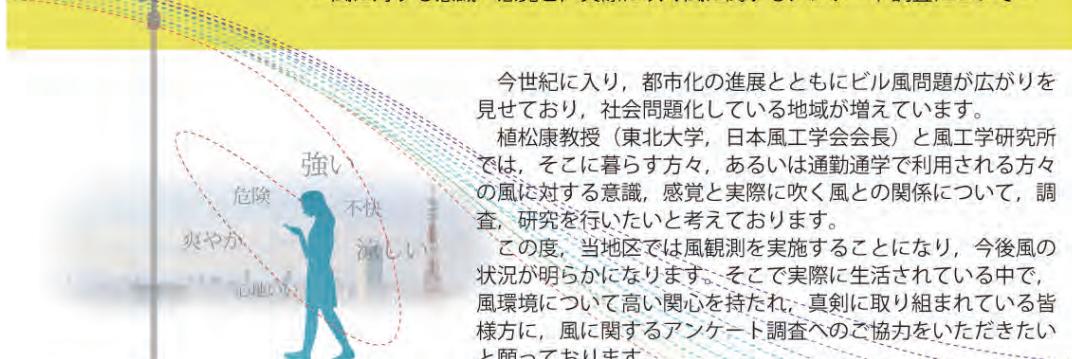


パスワード:eseroz



あなたの風に対する感覚、いただけませんか？

～風に対する意識・感覚と、実際に吹く風に関するアンケート調査について～



今世紀に入り、都市化の進展とともにビル風問題が広がりを見せており、社会問題化している地域が増えています。

植松康教授（東北大学、日本風工学会会長）と風工学研究所では、そこに暮らす方々、あるいは通勤通学で利用される方々の風に対する意識、感覚と実際に吹く風との関係について、調査、研究を行いたいと考えております。

この度、当地区では風観測を実施することになり、今後風の状況が明らかになります。そこで実際に生活されている中で、風環境について高い関心を持たれ、真剣に取り組まれている皆様方に、風に関するアンケート調査へのご協力をいただきたいと願っております。



アンケート調査の概要は以下の通りです。

(期間) 平成 28 年 3 月上旬～平成 30 年 11 月末日（予定）

(頻度) 毎日（無理のない可能な範囲でお願いします）

(回答方法) ① E-mail による方法 ② LINE による方法 ③ アンケート用紙による方法

(対象の方々) 近隣住民の方々、近隣の会社・学校に通勤・通学される方

(調査項目) 主な調査項目として、一日の風の印象、風によって生じた現象などについて、いくつかの選択肢の中から回答を選んでいただきます。

より詳しい内容は、<http://www.wei.co.jp/survey.html> (※) に記載しております。

(※) ←スマートフォン等の方はこちらから

一定数アンケートにご協力いただいた方には、粗品をご用意しております。また、調査結果は、論文等を通じて公表する予定しております。延べ 3 年という長期になりますが、何卒皆さまのご協力を賜りたいと思っております。



説明会行います。

アンケート調査の詳細について、2月中旬～下旬に説明会を実施いたします。詳細な日時や場所、参加方法につきましては、上記 URL (※マーク) および町内会の掲示板にお知らせを掲載いたしますので、ご覧ください。また、ご都合がつかずご参加いただけない方は、以下までお問い合わせいただけましたら、内容をご説明いたしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

sunset@wei.co.jp

03-3237-2811 (担当：赤星、猿川)

幻の「日本で最初の撮影所 目黒グラス・ステージ」

(投稿:杉野秀子)

2015年11月18日、めぐろ観光まちづくり協会の職員中澤氏が、訪ねてこられました。要件は、地域の歴史や文化の掘り起しの一環として、昔目黒駅近辺にあったという映画撮影用スタジオについての問い合わせでした。『夕陽ヶ丘物語』(夕陽会編2006.4刊行)に「日本で最初の撮影所、目黒グラス・ステージ」(半場茂氏記)55頁～63頁)の記事を紹介しようと力が入りました。

当該誌の出版記念会の際この目黒グラス・ステージの跡に住んでおられた東條健二氏の御子息碩夫氏にお会いし第二次大戦の空襲に遭うまで現存していたことを伺いました。その場所は何と現在の雅叙園マンションの2号館のあるところなのです。

1896年(明治29年)11月

目黒グラス・ステージを建てた河浦謙一氏は、明治元年、富山県の寺の生まれ。上京して神田区紺屋町の吉沢家に寄食し、幻灯機、浮世絵、郵便切手類の輸出販売などを手がけていた。商売は順調で銀座二丁目に店を持ち、明治27年には、新橋金六町に三階建ての建物を陳列所にして、浮世絵、骨董の輸出業務に励んだ。この新橋の店に出入りしていたイタリア人がシネマグラフを持ってきたのが明治29年暮れのことであった。

明治29年11月神戸に映画を輸入、上映され、皇族方がご覧になったという「神戸又新日報」の記事がある。

1907年(明治40年)9月

常設の活動写真館が増え、吉沢商店のような映画業者が活動写真スタジオの建設を企画していた。

吉沢商店目黒撮影所・吉沢商店(社長・河浦謙一)の撮影所は敷地を、東京目黒の行人坂上にあった店主の別宅を中心に隣接の南部の原と呼ばれた12,000坪ばかりの空き地に求めた。

1908年(明治41年)1月

グラス・ステージは(間口4間半×4間)=17.6坪の長方形で、屋根と周囲はガラス張りで東と南側の下半分はカメラの引きを考えて板戸が自由に取り外せるようにした。(設計は河浦謙一)一棟を完成させた。照明がまだできなかつたので、太陽光線で撮影するため、温室のようなガラス張りのステージを必要とした。新派悲劇の背景などに庭園も良く使われたとのこと。

1955年(昭和30年)4月

河浦氏の息子前島誠一氏・映画監督吉野二郎氏・半場茂氏が場所の確認を行った。前島氏はたしかに見覚えがあるといっていたが、それは、河浦さんのいう別荘の建物で、その家を訪ねると、ご主人は東京大学農学部名誉教授・東條健二氏といい、快く室内を見せてくれた。撮影所の跡とは知らず分譲地として購ったといった。

2015年(平成27年)11月

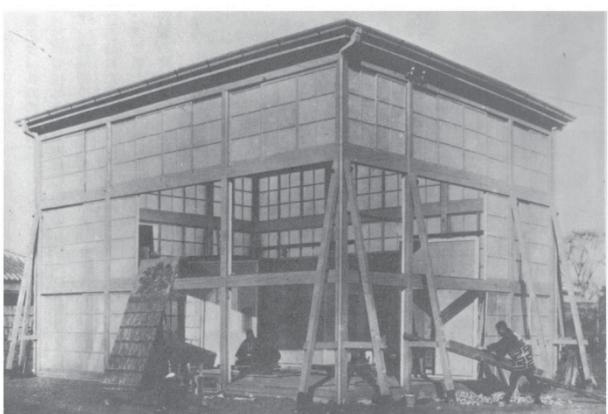
『目黒まちかど通信』VOL.47に「日本初の撮影所 吉沢商店目黒撮影所」(品川区上大崎4-5～目黒区下目黒1-8一帯)記事が掲載される。



明治42年の地図。丸で囲まれた部分に撮影所やいくつかの建物の存在がわかります。

「明治・大正・昭和東京1万分の1地形図集成」より

たけのこタウン vol.47 より



目黒撮影所グラスステージ 大道具製造の状況(明治41年)

出典:「講座 日本映画1 日本映画の誕生」P92/発行:株岩波書店

たけのこタウン vol.47 より



目黒撮影所のオープン撮影の庭園

出典:「日本映画発達史」P126/発行:中央公論社より

子ども会だより

子どもクリスマス会

好例の「子どもクリスマス会」を、昨年12月20日に開催しました。18家族56人の親子が参加し、うち4組が初参加の家族でした。

バルーンアートのお姉さんもお招きし、パフォーマンスしていただきました。ご協力いただいたドレスメーカー学院の寺西さん、ありがとうございました。

本物のサンタさん?も来てくれ、子どもたちは楽しく遊び、大人たちはたくさん交流し、貴重な一日となりました。子ども会は、日々育児に奮闘するお母さん・お父さんにとっても、大切な交流の場になってています。

毎年大好評の抽選会も盛り上がり、たくさんの景品をお持ち帰りいただきました。ご協力いただいた目黒雅叙園様、アマゾンジャパン様、坂本様、他たくさんの皆様に、心より感謝いたします!

(記:洪 愛舜)



子ども会に遊びにきてね

夕陽会地域にお住まいの親子なら、どなたでも子ども会のイベントにご参加いただけます。2016年度も楽しいイベントを開催予定です。まずはメールにてご連絡ください。

送り先

→meguroyuhikaikodomo@gmail.com 細川宛



QRコード→→→

懐かしの町内の餅つき

「ぺったん、ぺったん」「よいしょ!」「ぺったん」「それっ!」の掛け声で年末の天皇誕生日に、今は懐かし臼と杵の餅つきが行われました。

ドレメ通り坂の途中のタヌキの陶器がある袋小路、老若男女数十人が集まりました。つきたてのお餅をきな粉にまぶしたり、ゼンザイにしたり、手作りのお雑煮にして、そして、おでん、お漬物、あえたレンコン、焼きそば、焼き芋等々を食しつつ、快いお酒も飲みながら餅つきを交替々々で楽しんでいました。

この催しは町内会会長の西さんが平成4年に作製した臼と杵で、毎年行われています。



西さんの気遣いもあり、これまで夕陽会町会にはあまりPRしていませんでした。

町内には徐々に子供たちが増えていますので、次回からは子ども会にもお知らせし、「餅つき大会」として町内みんなで楽しんではと思います。

西さんは町内の皆さんへの声掛けに賛同されています。

(文責者は匿名)